

JSC デザイン墓石カタログ

舞台付シリーズ

No.1 関東高級型&舞台 A……………P01-02

No.2 喜&舞台 B……………P03-04

No.3 紬&舞台 C……………P05-06

No.4 ペンタゴン&舞台 D……………P07-08

No.5 スピカ&舞台 E……………P09-10

No.6 レグルス&舞台 F……………P11-12

No.7 ナバーナ&舞台 G……………P13-14

No.8 一ノ蒼&舞台 H……………P15-16

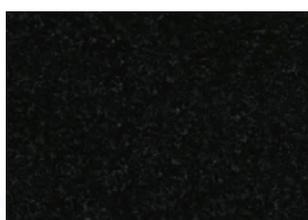
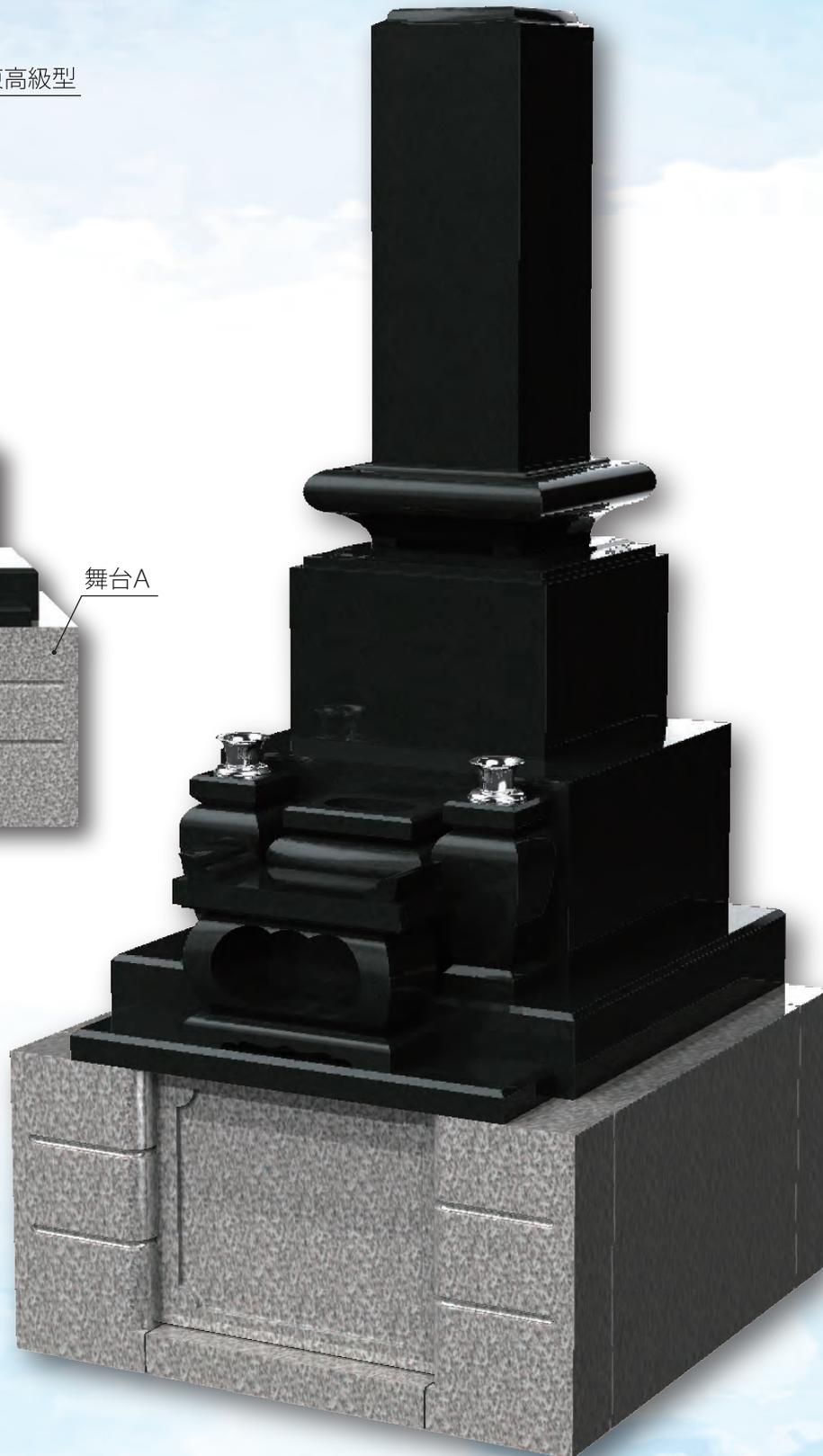
万成石・天山石・庵治石……………P17

真壁小目・稲田石・大島石……………P18

舞台付シリーズ

No.1

関東高級型 & 舞台A



■ 関東高級型
＜外材＞
クンナム／産地：インド



■ 舞台A
＜外材＞
G623／産地：中国

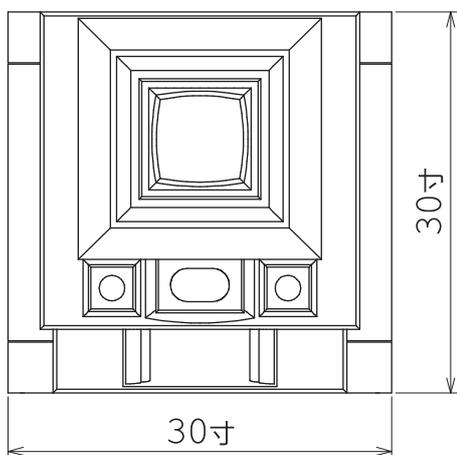
舞台付シリーズ No.1

関東高級型&舞台A

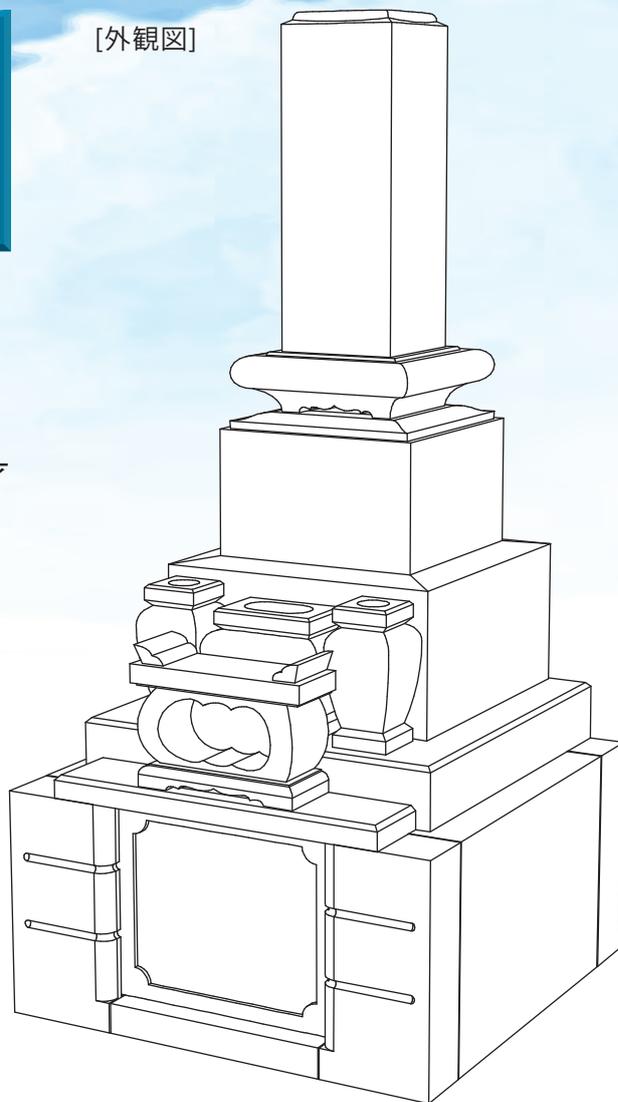
■敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

■才数
〈石塔〉11.42才 〈舞台〉5.65才

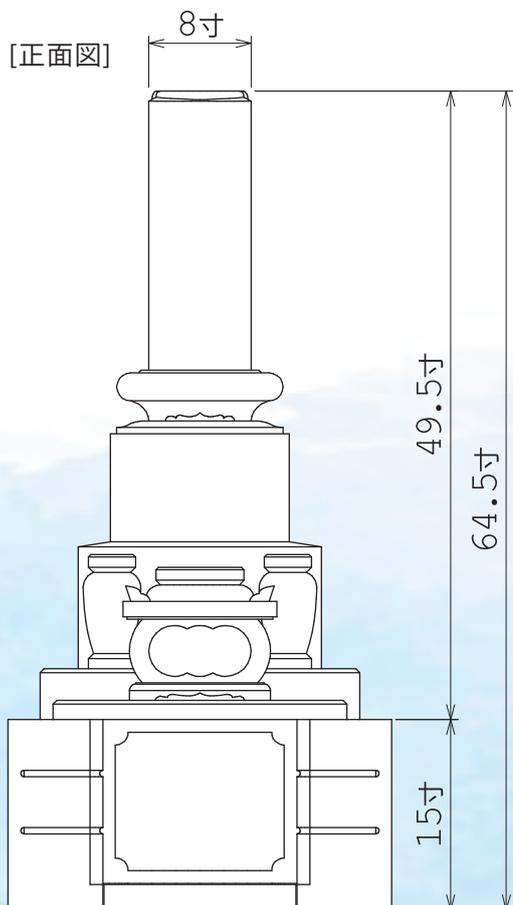
[平面図]



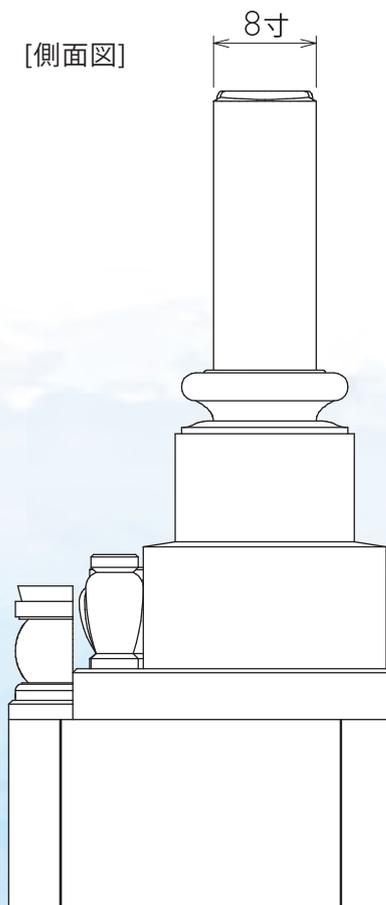
[外観図]



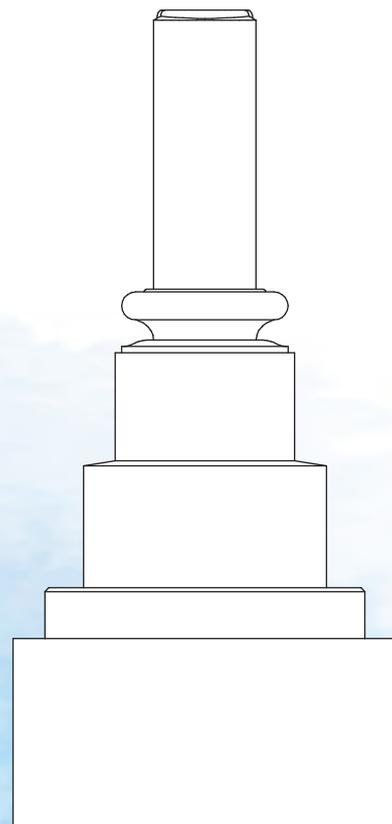
[正面図]



[側面図]



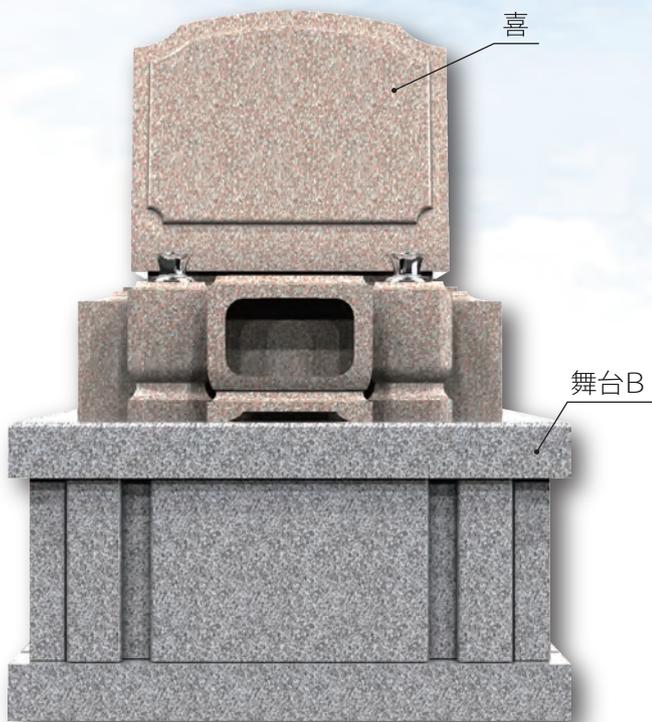
[背面図]



舞台付シリーズ

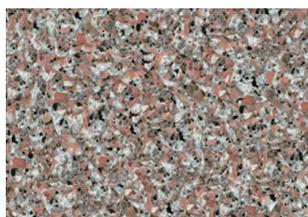
No.2

喜 & 舞台B



喜

舞台B



■ 喜

<国産材>

万成石 / 産地: 日本(岡山県)



■ 舞台B

<国産材>

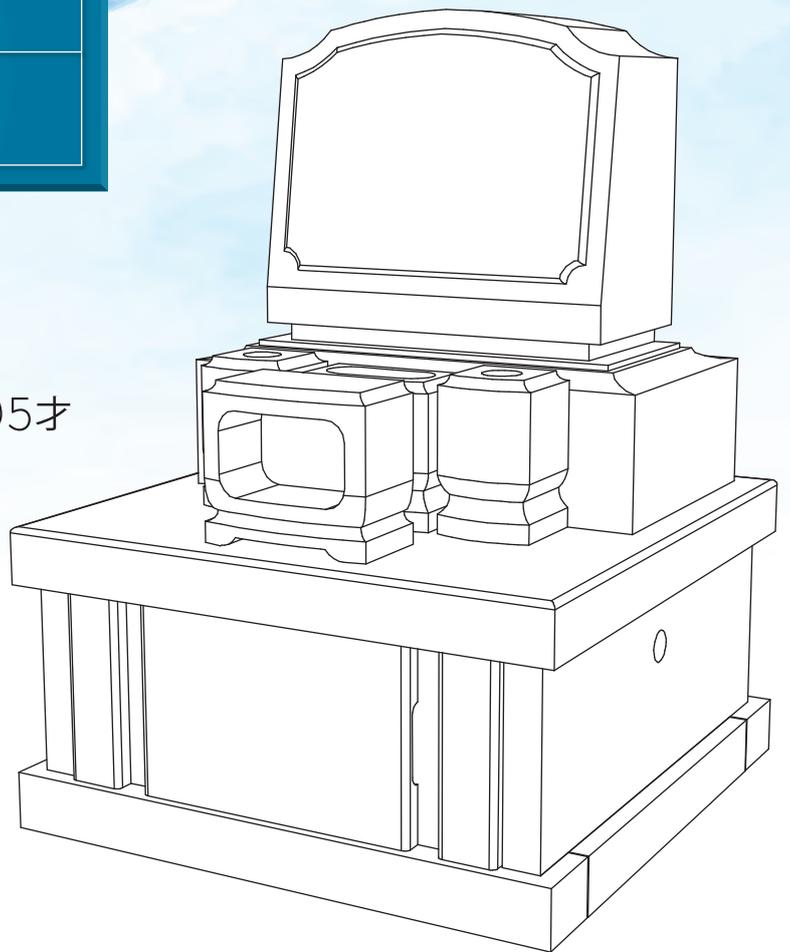
稲田石 / 産地: 日本(茨城県)



舞台付シリーズ No.2

喜&舞台B

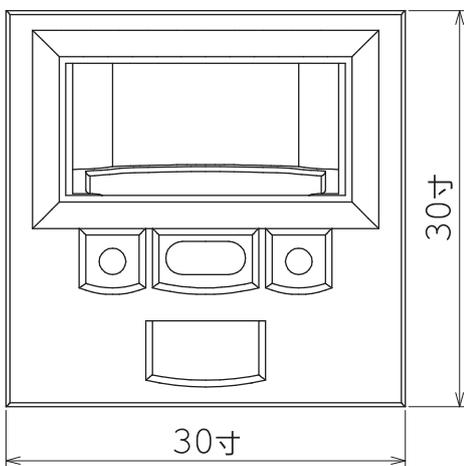
[外観図]



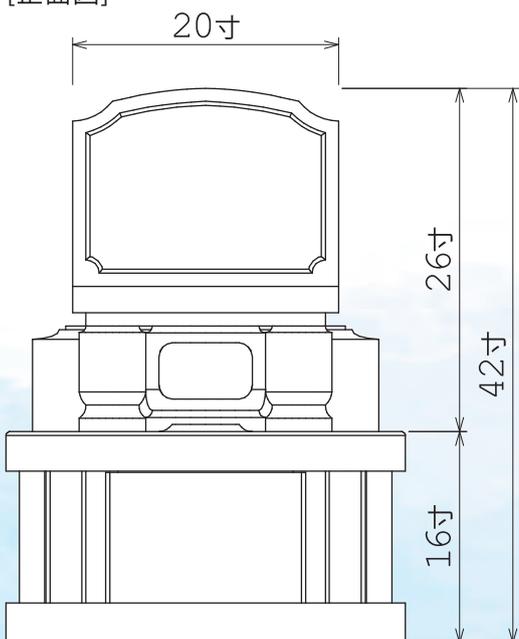
- 敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

- 才数
〈石塔〉7.78才 〈舞台〉6.95才

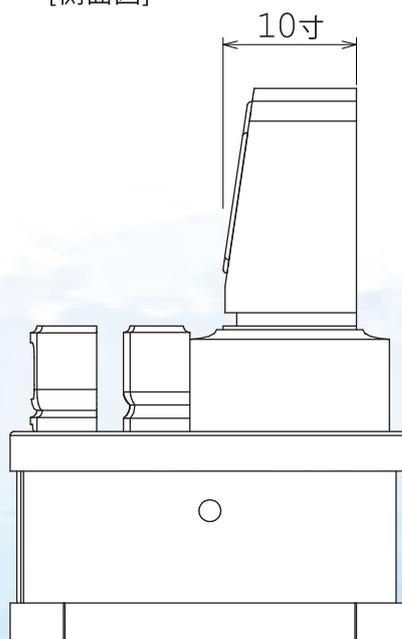
[平面図]



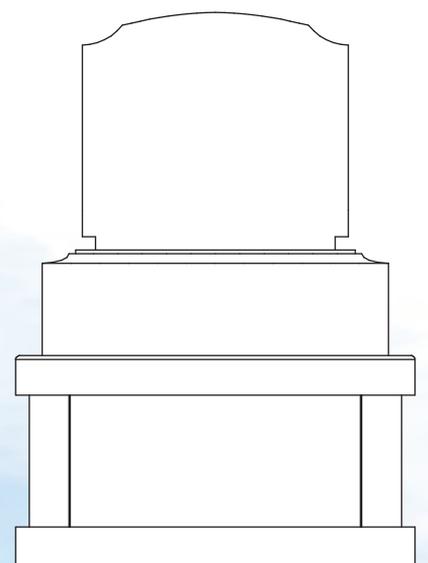
[正面図]



[側面図]



[背面図]



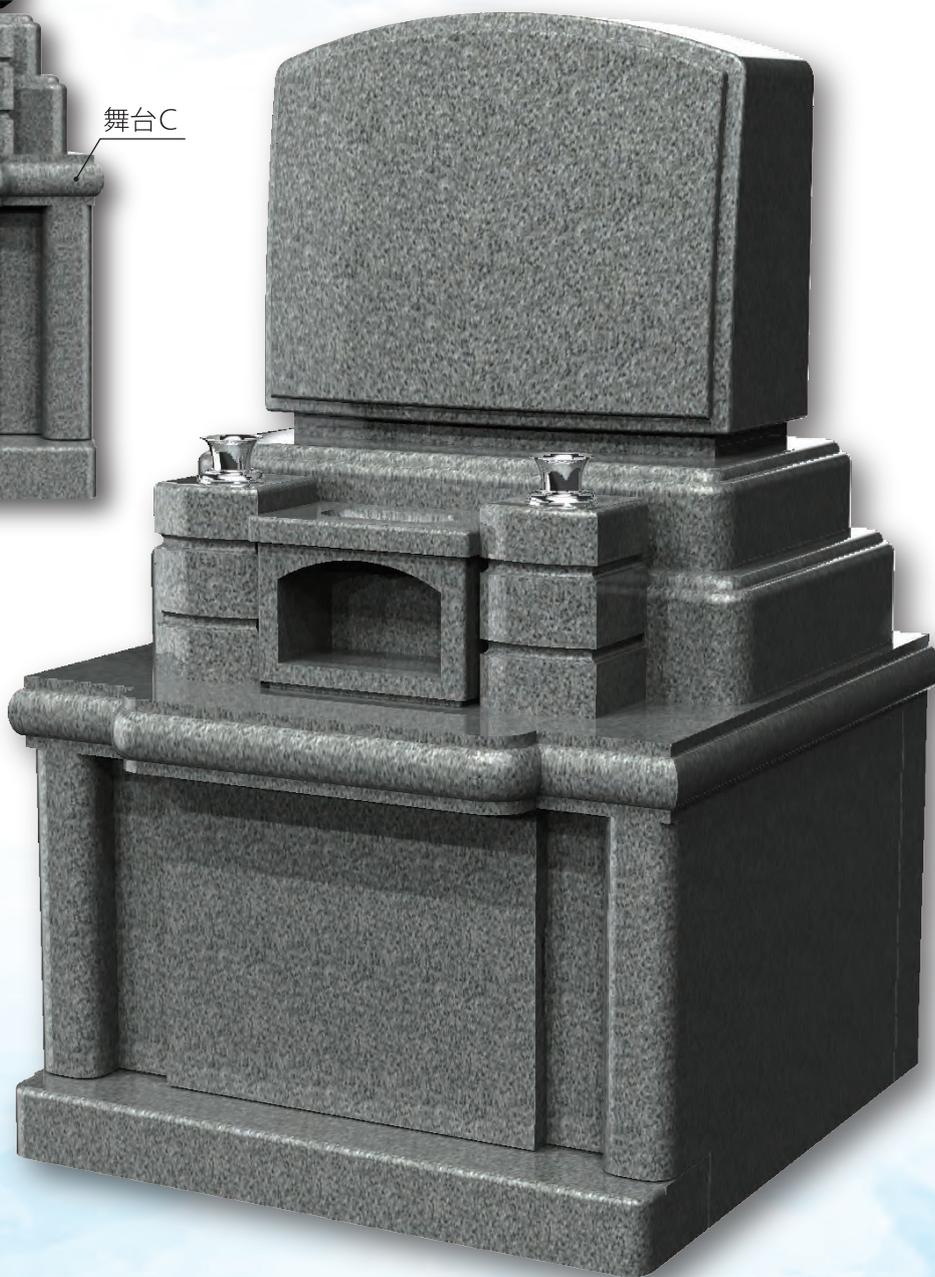
舞台付シリーズ

No.3

紬 & 舞台C



■ 紬・舞台C
＜外材＞
アーバングレー
／産地：インド



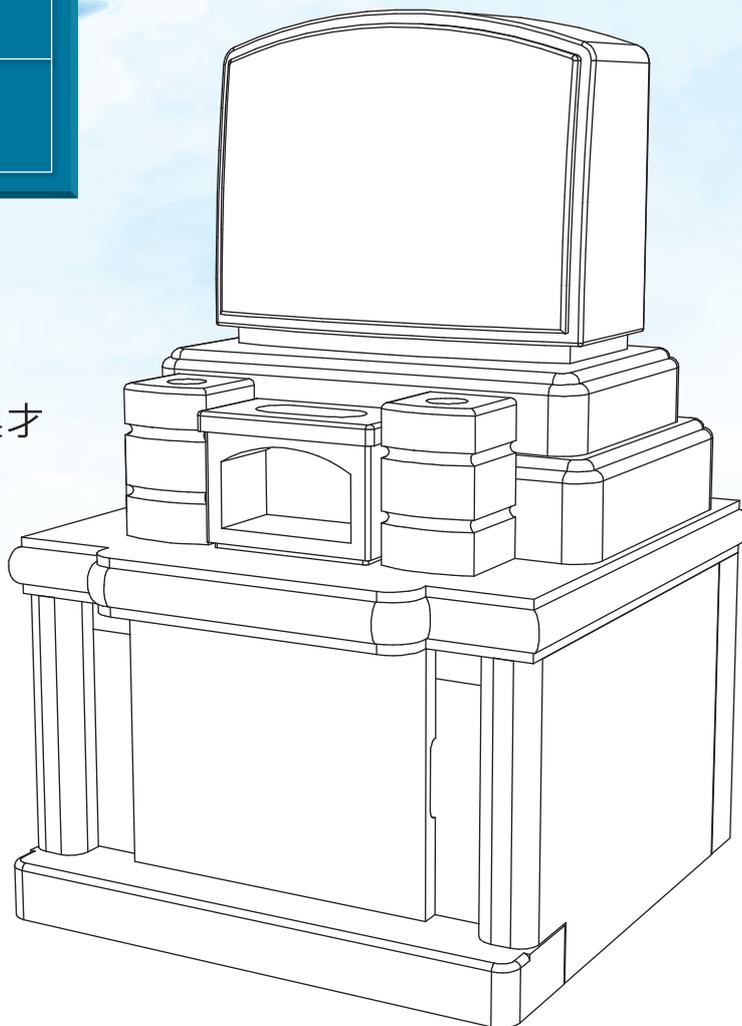
舞台付シリーズ No.3

紬&舞台C

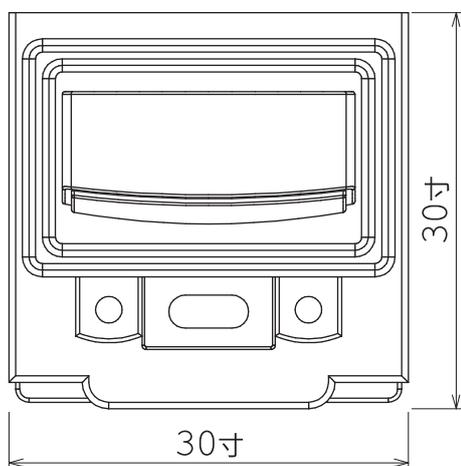
■敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

■才数
〈石塔〉8.77才 〈舞台〉8.04才

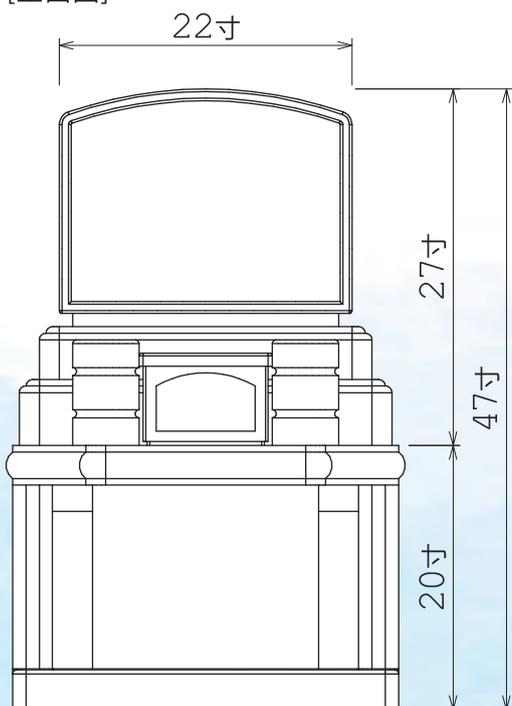
[外観図]



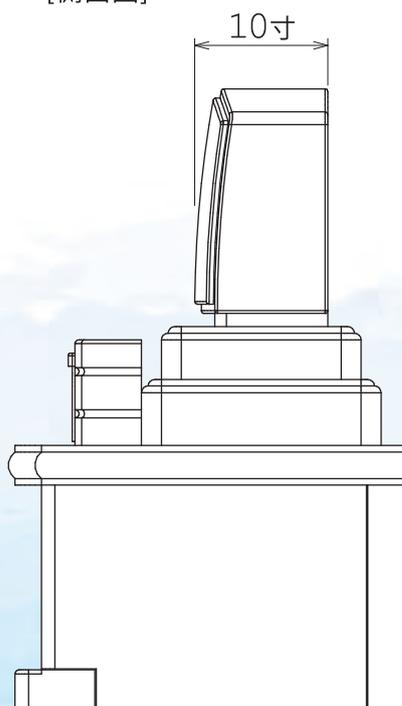
[平面図]



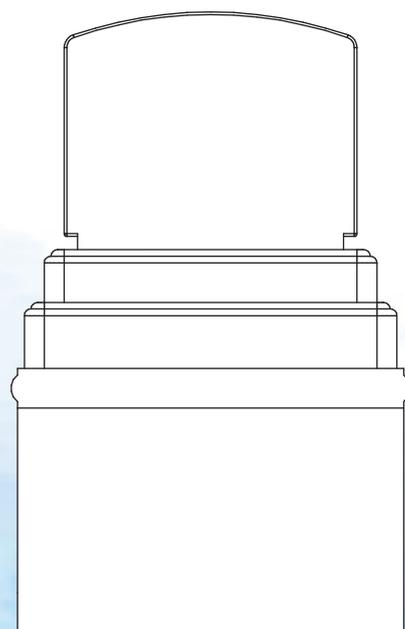
[正面図]



[側面図]



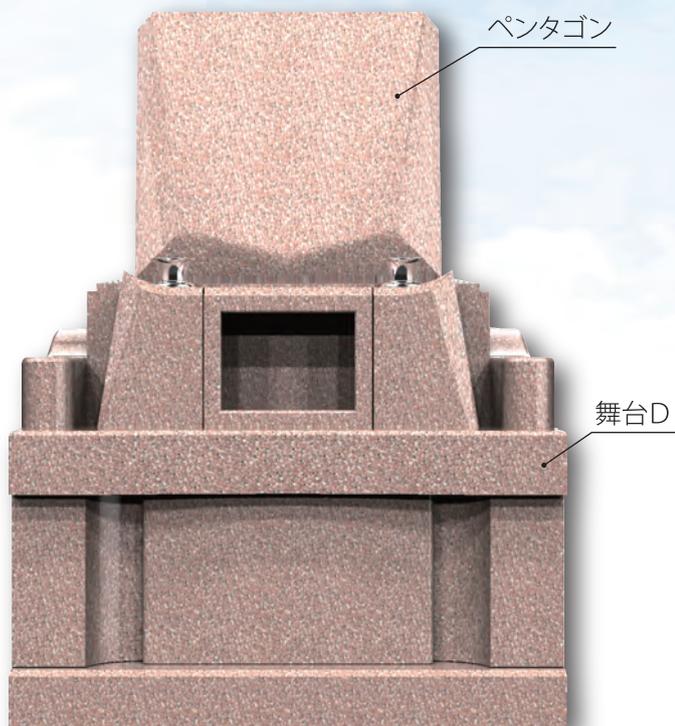
[背面図]



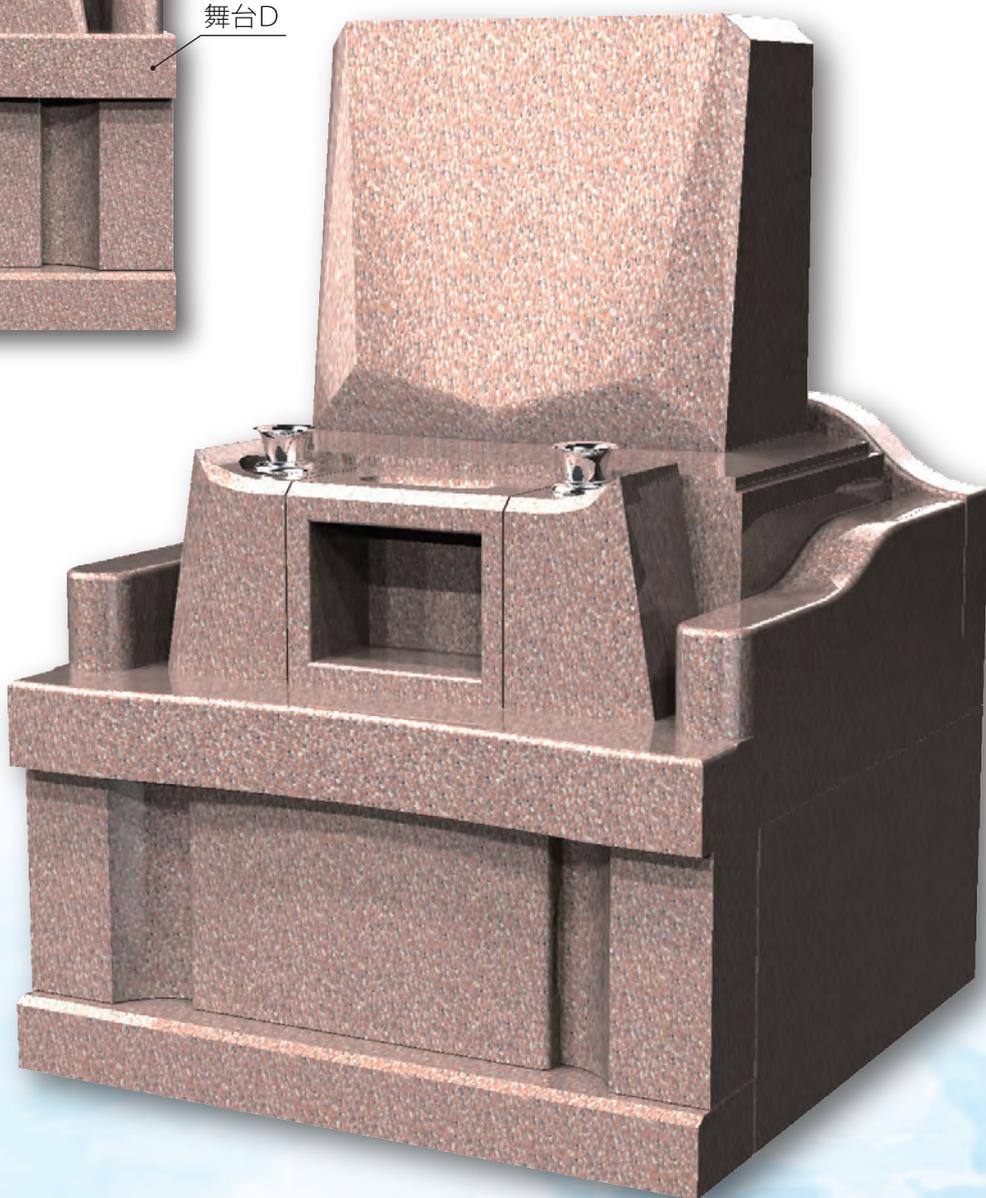
舞台付シリーズ

No.4

ペンタゴン&舞台D



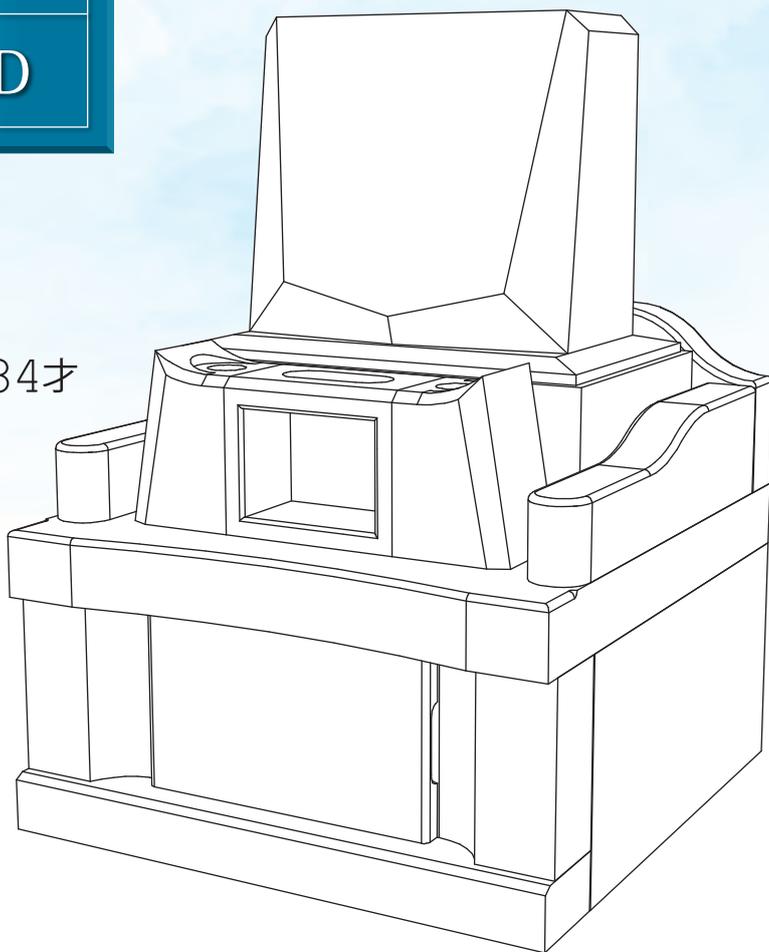
■ペンタゴン・舞台D
<外材>
G663/産地:中国



舞台付シリーズ No.4

ペンタゴン&舞台D

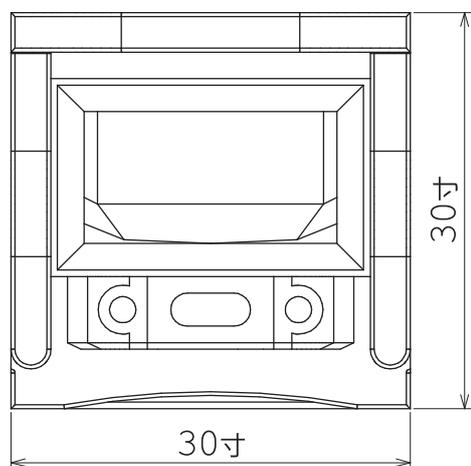
[外観図]



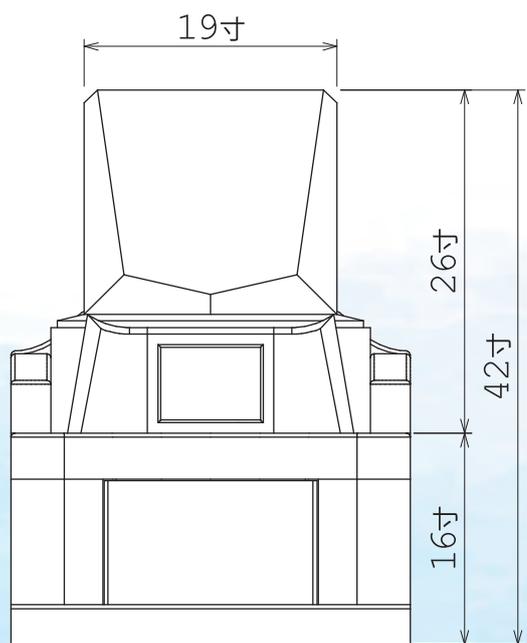
- 敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

- 才数
〈石塔〉7.48才 〈舞台〉9.84才

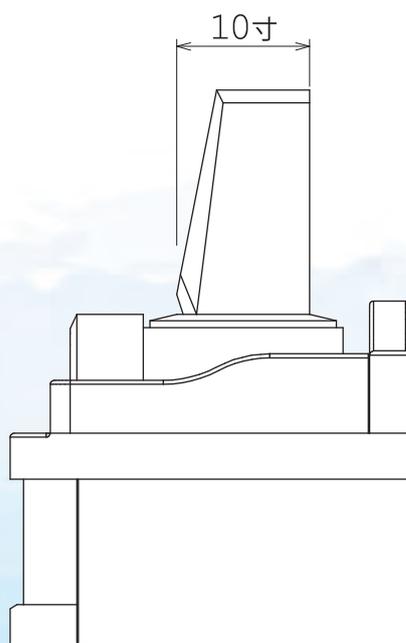
[平面図]



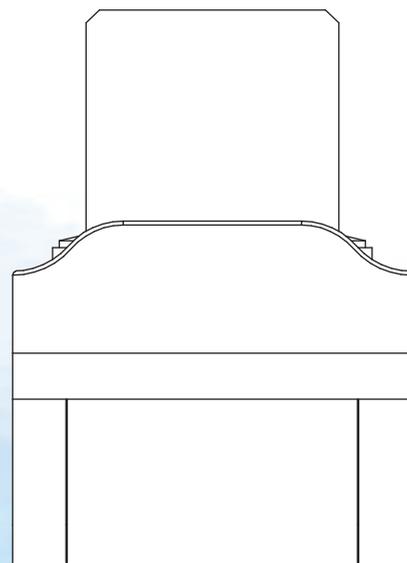
[正面図]



[側面図]



[背面図]



舞台付シリーズ

No.5

スピカ & 舞台E



■スピカ
＜国産材＞
天山石／産地：日本（佐賀県）



■舞台E
＜外材＞
G654／産地：中国

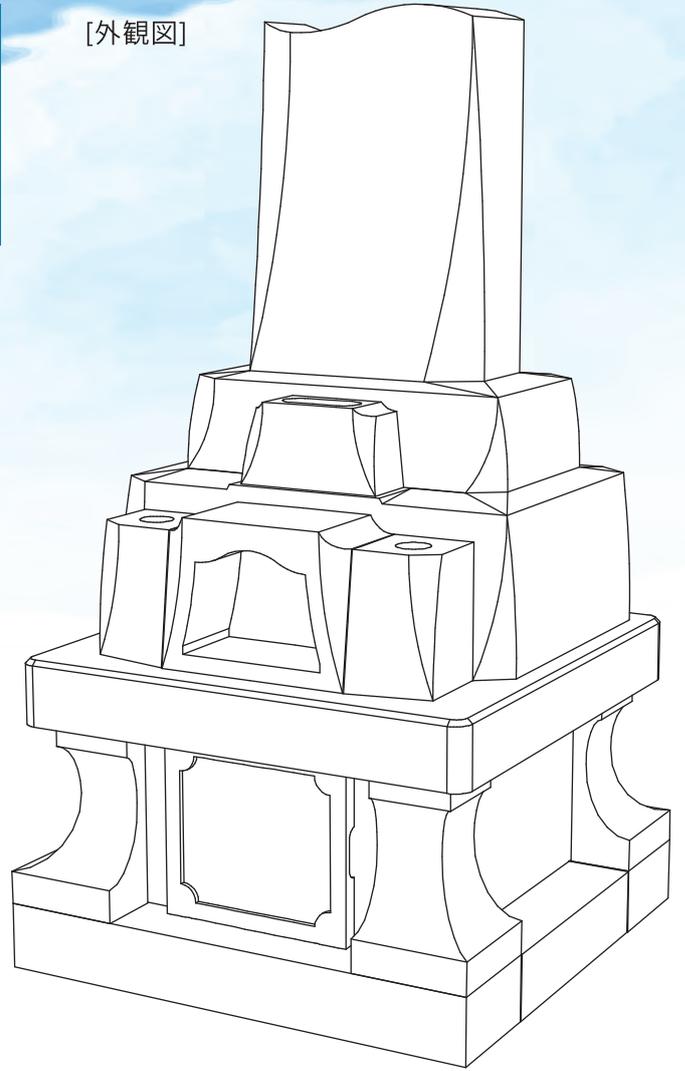


舞台付シリーズ No.5
スピカ&舞台E

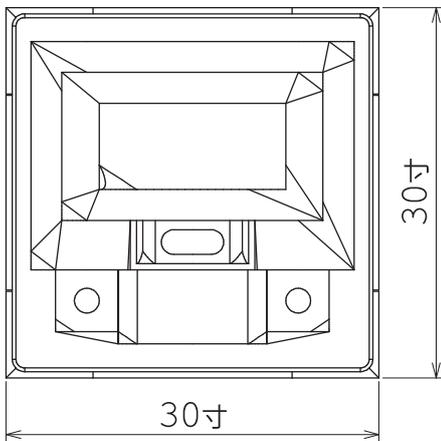
■敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

■才数
〈石塔〉9.91才 〈舞台〉8.77才

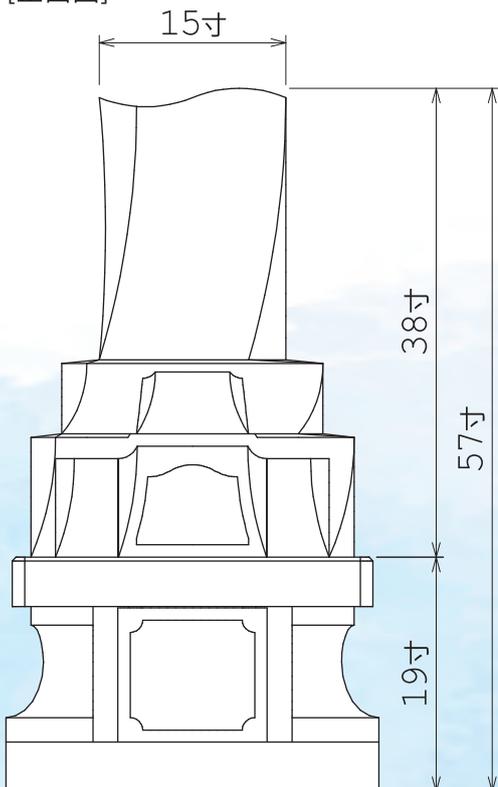
[外観図]



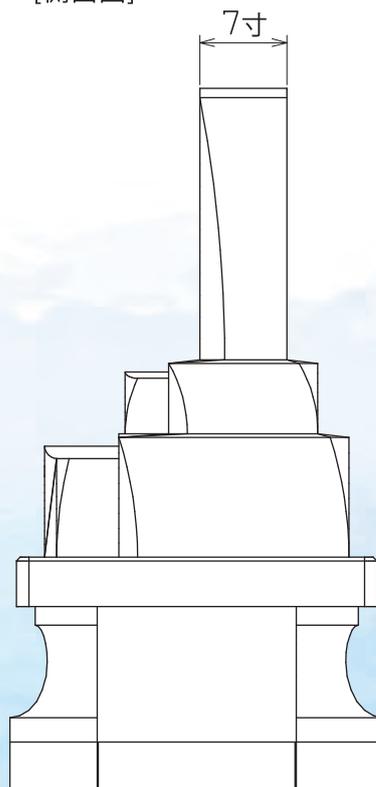
[平面図]



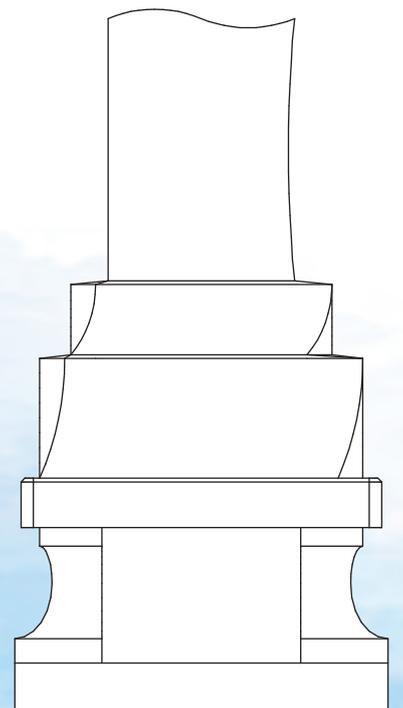
[正面図]



[側面図]



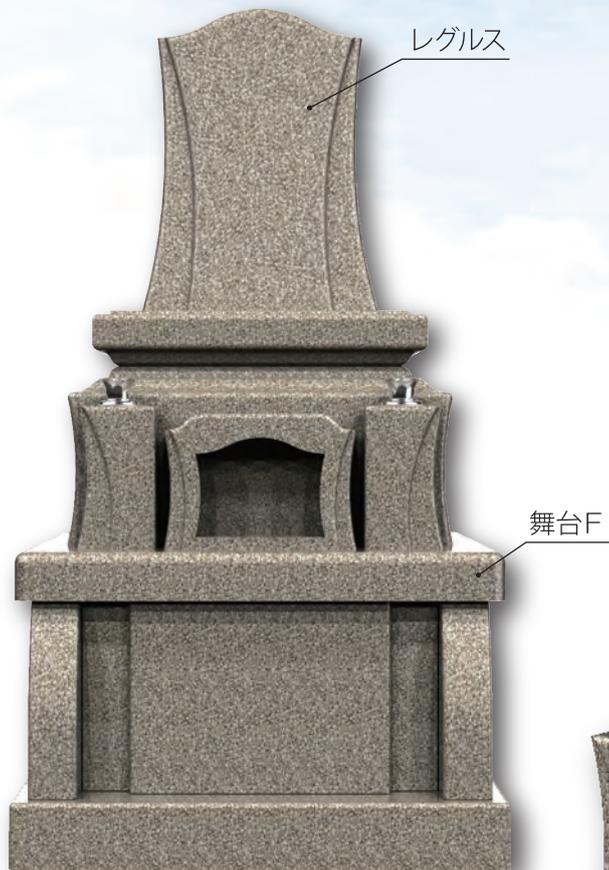
[背面図]



舞台付シリーズ

No.6

レグルス & 舞台F



■レグルス・舞台F
<外材>
ロイヤルブラウン
/産地:インド



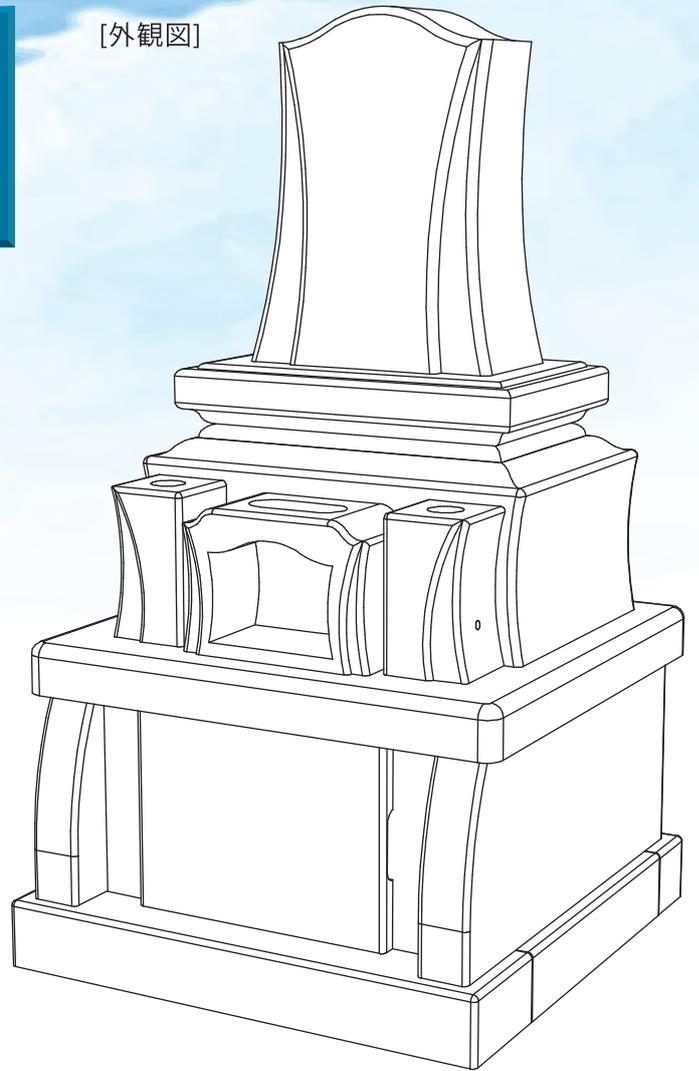
舞台付シリーズ No.6

レグルス&舞台F

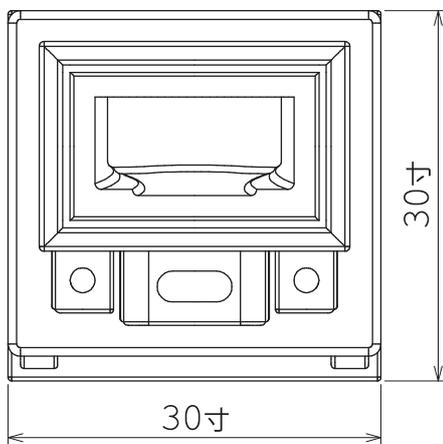
■敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

■才数
〈石塔〉9.82才 〈舞台〉7.89才

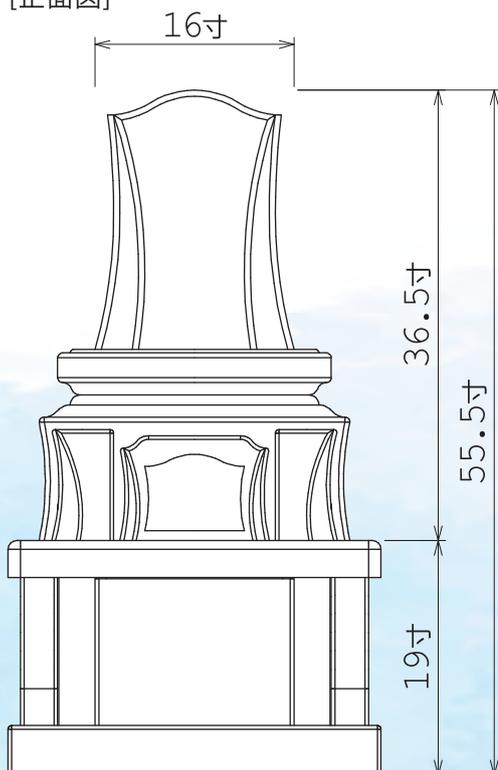
[外観図]



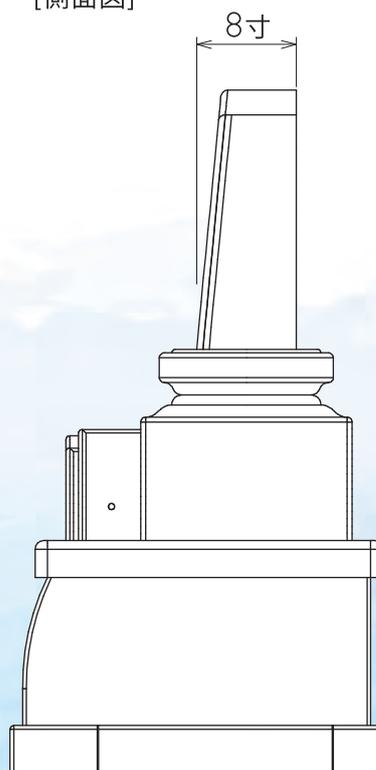
[平面図]



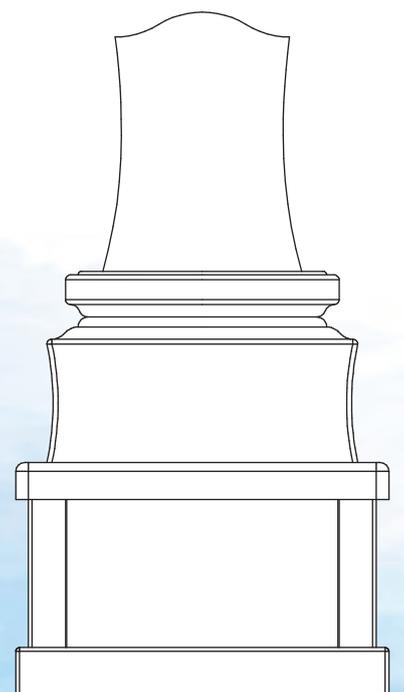
[正面図]



[側面図]



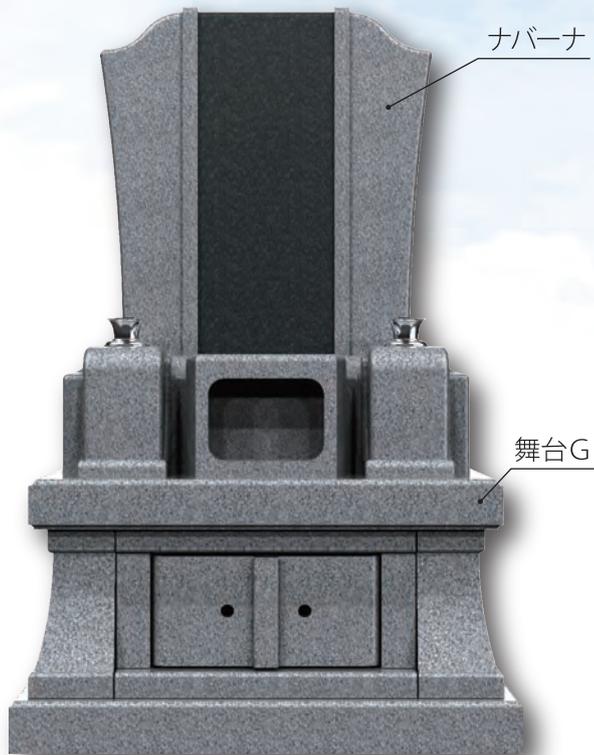
[背面図]



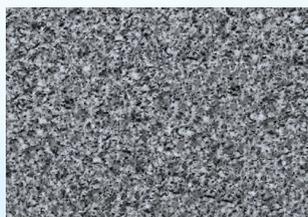
舞台付シリーズ

No.7

ナバーナ & 舞台G



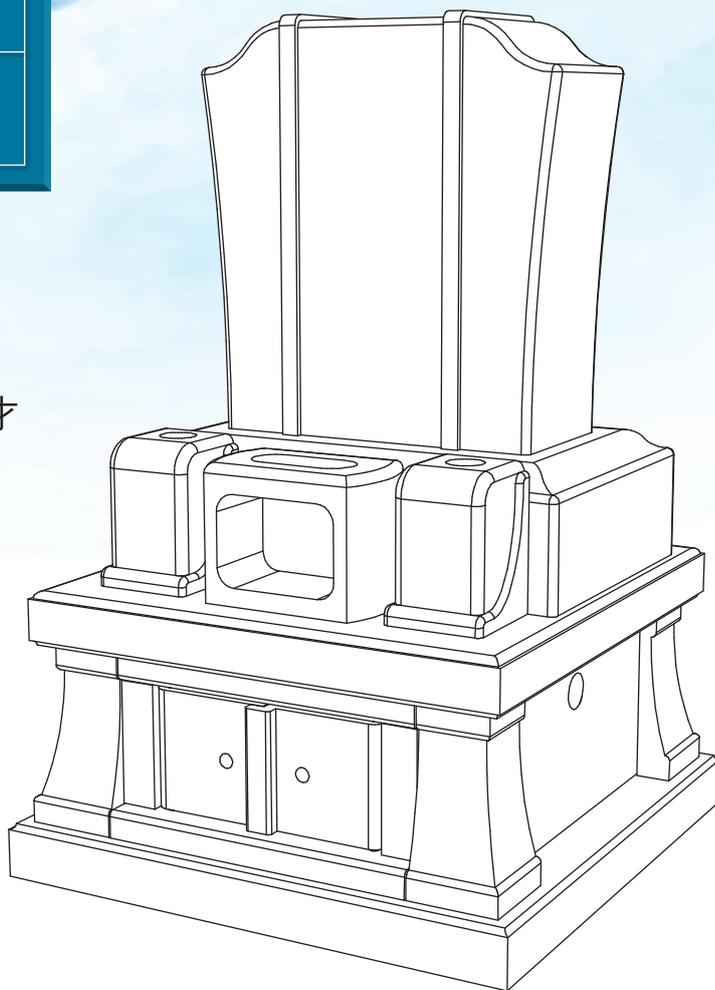
■ナバーナ(竿石)
<外材>
インパラブルー／産地:南アフリカ



■ナバーナ(石塔)・舞台G
<国産材>
真壁小目／産地:日本(茨城県)

舞台付シリーズ No.7
ナバーナ&舞台G

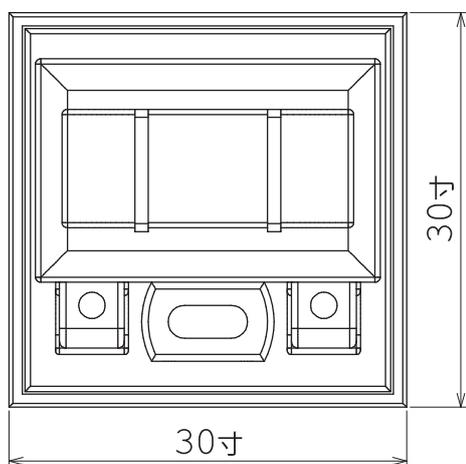
[外観図]



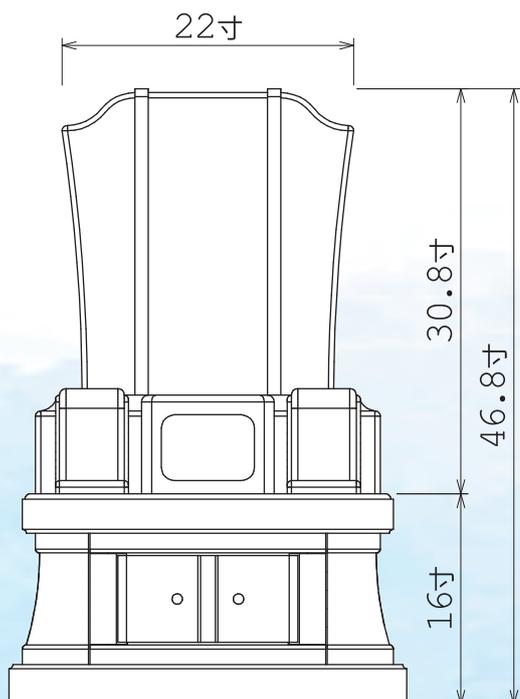
■敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

■才数
〈竿石〉2.03才 〈石塔〉7.31才
〈舞台〉7.52才

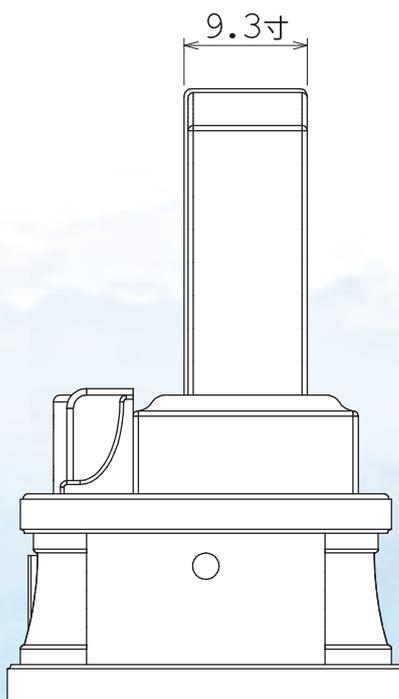
[平面図]



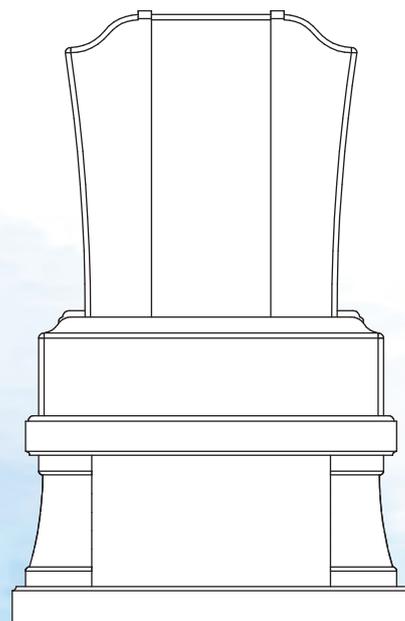
[正面図]



[側面図]



[背面図]



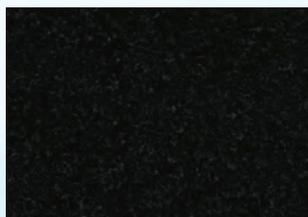
舞台付シリーズ

No.8

一ノ蒼 & 舞台H



■一ノ蒼(竿石)
<国産材>
庵治石/産地:日本(香川県)



■一ノ蒼(石塔)・舞台H
<外材>
クンナム/産地:インド



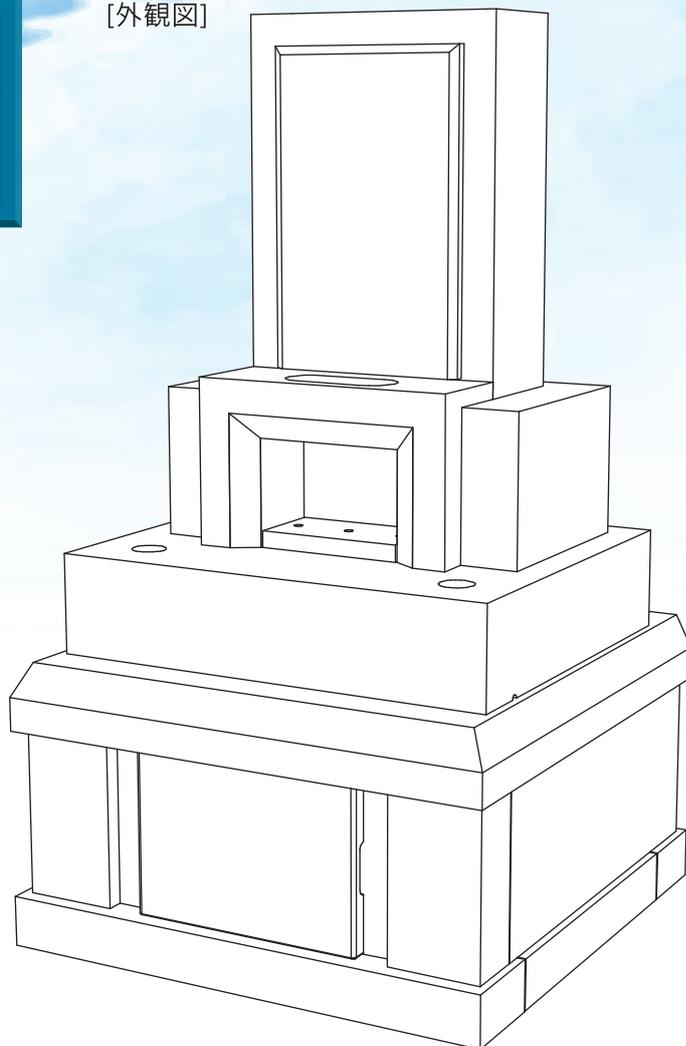
舞台付シリーズ No.8

一ノ蒼&舞台H

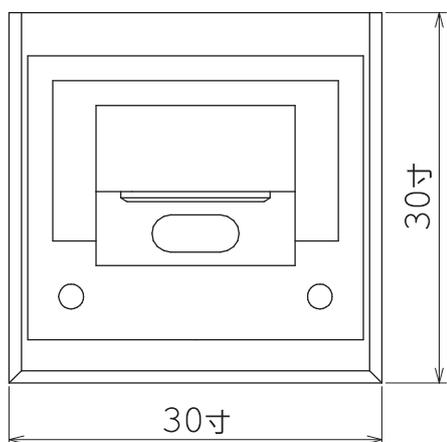
敷地寸法
間口30寸×奥行30寸

才数
〈竿石〉0.68才 〈石塔〉9.88才
〈舞台〉8.51才

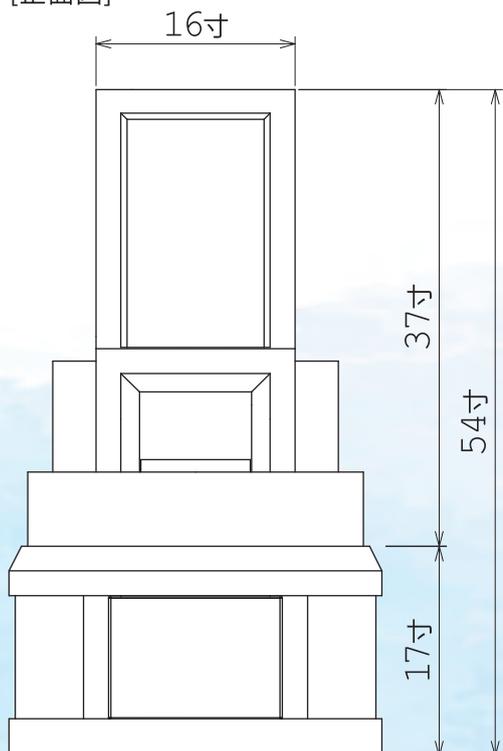
[外観図]



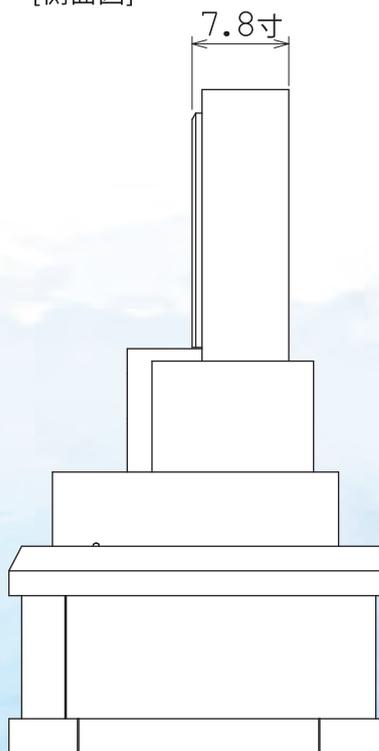
[平面図]



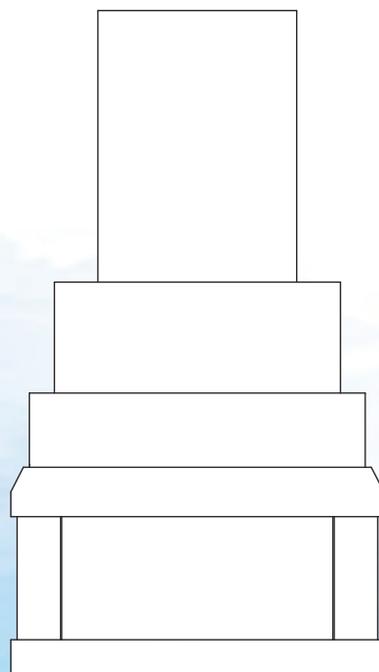
[正面図]



[側面図]



[背面図]



万成石 [中国・岡山県産]

優美さと雄大さをあわせ持つ銘石

永く愛され続ける理由

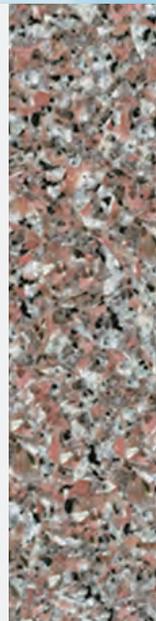
日本で最も愛される花「さくら」の雰囲気を持つ“万成石”。通称「さくら御影」と呼ばれ、淡紅色の華やいだ風合いは、外国産では感じることのできない本物の品格と高級感を醸し出しています。

また、“万成石”はかわいらしい雰囲気的一面を持ちながら、石質は非常に堅固で吸水率も低く、花と実の両方を持ち合わせた日本の銘石としてブランド化されています。

万成石の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.62 t/m ³
■吸水率	0.17 %
■圧縮強度	133.72 N/mm ²

岡山県岡山市
“矢坂”



天山石 [九州・佐賀県産]

広く愛される銘石

石のプロも認めるその品質

その魅力は、国産材の中でもNo.1～No.2を争う吸水率の低さと抜群の硬度からくる艶持ちの良さです。少し紫がかかった濃い青味が特長の高級青御影石として大変人気があります。

他の有名国産材と比較しても透明度が高く、青深いその石目は、降雨後や歳月を経ても変色がほとんどなく、日本の風土に適しており、墓石材として理想的です。中でも、本家の採掘元である『天山石材』ブランドは、石屋さんの間では有名です。

天山石の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.69 t/m ³
■吸水率	0.09 %
■圧縮強度	194.27 N/mm ²

佐賀県 唐津市
七山地区“天山”



庵治石 [四国・香川県産]

世界に誇る御影の最高峰

最大の特徴は「斑」

きめ細かな地肌であるがゆえに風化に強く、磨けば磨くほど艶を増す“庵治石”。その最大の特徴は、「斑が浮く」という現象です。他に類をみない、この特質性と希少性から、世界で最も高価な石として評価されています。

“庵治石”の石肌は磨くほどに濃淡が浮き出て、平坦なはずの石の表面に奥行きを感じさせる二重のかすり模様を見せてくれます。その模様は、高い山々にかすみたなびく雲、また屋島から舞い落ちる桜の花びらにもたとえられ縁起物としても珍重されてきました。

庵治石の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.65 t/m ³
■吸水率	0.15 %
■圧縮強度	155.00 N/mm ²

庵治町・牟礼町にまたがる
“八栗五剣山山麓”



真壁小目 [関東・茨城県産]

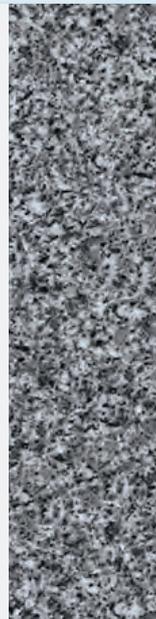
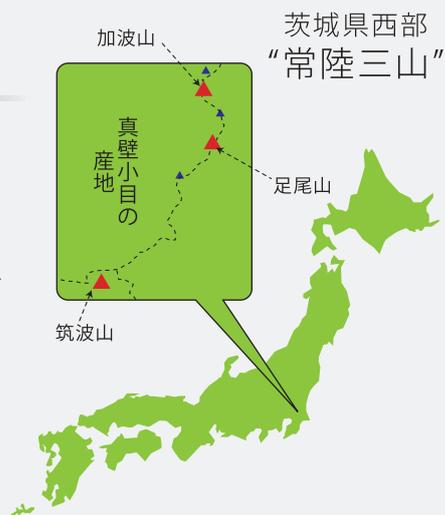
硬質で堅牢な品質の常陸の銘石

関東、北陸で建墓数No.1の信頼と実績

日本の石材の三大産地といわれる庵治(香川県)・岡崎(愛知県)・真壁(茨城県)の中でも、“真壁石”はその飽きのこない表情、変色・キズが出にくい品質、そしてなによりも豊富な産出量に支えられた品質の安定性において、関東や北陸で多くの石材店・御施主様に支持され続けています。その中でも粒子の細かい「小目」といわれるものは、石英の含有量が多く、堅牢で経年変化にも強いといわれています。

真壁小目の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.638 t/m ³
■吸水率	0.233 %
■圧縮強度	120.00 N/mm ²



稲田石 [関東・茨城県産]

日本を代表する白御影石

美しく輝く白さはトップクラス

均一的な柄と明るい色調が大きな魅力の“稲田石”。特に美しく輝くその白さは世界中の花崗岩の中でもトップクラスです。また、“稲田石”は豊富な埋蔵量から安定した供給が可能であり、日本の近代化に合わせるように、迎賓館や日本銀行本店を始め、国会議事堂、東京駅、最高裁判所、広島原爆慰霊碑、国技館、昭和天皇陵など多くの歴史的な建造物に使用されてきました。「日本の歴史」を背景に持つ“稲田石”はまさに、日本を代表する石です。

稲田石の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.63 t/m ³
■吸水率	0.22 %
■圧縮強度	167.48 N/mm ²



大島石 [四国・愛媛県産]

本流・四国の銘石

石のプロも認めるバランスの良さ

念仏山と呼ばれる山の周辺で採掘される“大島石”。その最大の特徴は全ての点でバランスに優れた、偏りの無い「中庸」のごとき存在感です。色は白すぎず黒すぎず、石目は細かすぎず粗すぎず、決して色褪せない石肌は、むしろ時間が経つにつれその青味が強くなり一層の深みを示し、100年品質にふさわしい青磁のような美しさを感じさせます。

大島石の見掛け比重
吸水率・圧縮強度

■見掛け比重	2.649 t/m ³
■吸水率	0.111 %
■圧縮強度	117.99 N/mm ²



JSC デザイン墓石カタログ

舞台付シリーズ